

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 21名回答、回答率 84%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・手が欲しいと思うことがあるが、法令上の人員は満たしている。
- ・小さい段差があり、バリアフリー化として十分とは言い難いが、職員が工夫し対応に当たっている。

○業務改善

- ・アンケートを実施し、業務改善につながるよう努力している。
- ・教室内で改善できるところは出来ている。
- ・職員の資質向上について研修とまではいかなくとも、支援方法について個別にスタッフと話をしている。

○適切な支援の提供

- ・平日、休日、長期休暇に応じて課題を設定している。
- ・活動プログラムが固定化しないよう工夫している。また、当日行うプログラムの打ち合わせは、開始前に行えるよう努めている。
- ・事務作業を行わなくてはいけないのと、退勤時間もそれぞれ違うので、支援に関してのミーティングと振り返りについての打ち合わせを行うのが難しいこともあるが、個人間で意見を取り交わすなど、こまめなコミュニケーションを取るよう、注意している。
- ・療育日誌の記録に関して、あいまいにならないよう、努力している。

○関係機関や保護者との連携

- ・市の情報交換会に参加し関係機関の方と連携している。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会に関しては実施までに至っていない。
- ・保護者様とは連絡帳や送迎時に教室の様子や気になったことをその都度些細なことでも必ず情報共有している。直接会うことが難しい方は電話で伝えている。
- ・保護者との面談の際にご家庭での取り組みを聞いてアドバイスをを行っている。
- ・ペアレントトレーニングまではいかないが、口頭で伝える時もある。

職員の意見

○保護者への説明責任等

- ・支援の内容については丁寧な説明を行っている。
- ・保護者会の開催はしているが、参加率が低いので改善の必要がある。
- ・保護者からのご意見苦情に関して、現場で対応している。
- ・ニュースレターで日々の様子を発信している。ニュースレターの記事を楽しみにしてくださっている保護者がいることから、今後はブログでの発信も行っていきたいと考えている。

○非常時等の対応

- ・月に1度避難訓練を行っている。生徒向けは行えているが、スタッフのみでの訓練はまだ実施できていない。
- ・緊急時の各種マニュアルは作成しているが、保護者に周知できているかは不明。災害発生時の緊急時マニュアルは作成配布している。
- ・ヒヤリハットを本年度は150件以上作成し、教室内で共有できている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・教室内の環境について、満足いただけていると解答された方が約8割を占めた。その中で、「中高生で体が大人なので狭く感じる」といった意見も頂いた。
- ・「女性スタッフが増えるといいなと思っています」といった要望や、配置スタッフの人数について心配のご意見もあったが、職員体制に関して満足いただけているという回答が約8割を占めた。

○適切な支援の提供

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会について「無理に交流する必要はないと思います」などの意見を多数いただいた。

○保護者への説明等

- ・保護者への説明や連携については、ご回答いただいたすべての保護者から満足いただけているという回答をもらっている。
- ・保護者会に関しては、参加率の低さから、保護者同士の連携がとりづらいという意見を頂いた。
- ・定期的なニュースレターの発行は、保護者に届いており、9割の方から支持を頂いている。「子供の写真が載ってるのを楽しみに見えています。」というご感想も頂いた。

○非常時等の対応

- ・緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの周知徹底に関しては、9割の保護者から「周知・説明させている」というご回答を頂いている。避難訓練の存在も認知されている。

○満足度

- ・デイサービスの支援に関して、ご回答くださったすべての保護者から「満足している」という回答を得られた。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者への説明、生徒対応について丁寧に行っている。
- ・個別課題の時間を取って生徒の支援に取り組んでいる。

○改善点

- ・職員の支援資質向上を目的とした打ち合わせや研修を行う。
- ・保護者会の参加者が少ない。日程を2日間に分けて行っていたが、学校行事や親の会の会合日程と重なってしまったので日程を調整する。
- ・保護者会に参加したくなるようにPRを手紙などで行う。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・職員の支援資質向上を目的とし、外部研修を受けた際に他職員と共有するなどの教室内研修を執り行う。
- ・保護者同士の連携を促す支援を行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・引き続き、スタッフ定着のためにコミュニケーションを増やす。
- ・支援の質向上と利用者・スタッフの負担軽減を目的として関係機関との連携を電話や書面などを用いて行う。
- ・保護者会の日程を保護者の意見も聞いて早めに調整し、平日と休日の2回実施を心がける。また、療育参観も行い、それらを年間計画に入れる。

スマートキッズ